

# 山川セレクト 駒ヶ根エンジョイ案内

(公式ホームページのリポートのページも参考にご覧下さい。病気のはずの筆者が、調査の裏で、いかに不健康で楽しいことしてるか垣間見れます。かといって調査に手抜きはしていませんよ！)

駒ヶ根といえば、良質なテレインの他、一大観光地でもあり、オリエンテーリング以外にも楽しみを求めている方も多いと思います。この大会は、去ってしまったあの人もいつでも帰って来られる場所、と謳っているだけに実際に誘い文句にした人もいないのではないでしょうか？ ありきたりの情報はそこのガイドブックにお任せして、ここでは、我々スタッフが“足”と“腹”で集めた情報をお伝えします。これを参考に、大会の週末、駒ヶ根を十分に楽しんでいって下さい。

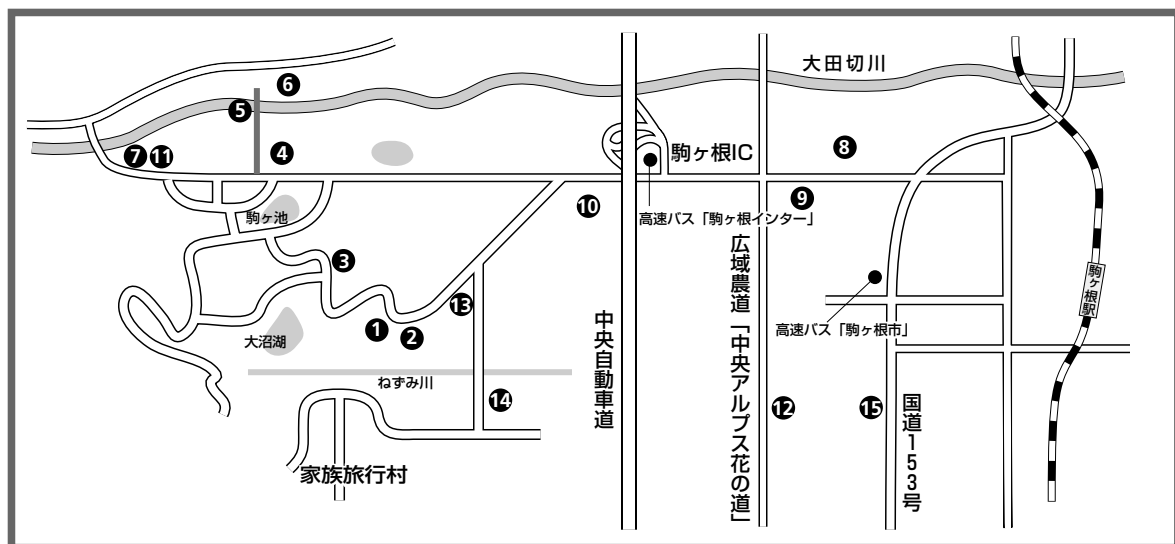
まずは、会場の「駒ヶ根高原家族旅行村」の各種施設をご案内します。まずは、キャンプ場とケビン村、この施設はキャンプ場ランキングのかなり上位に位置していると聞いています(三ツ星クラス)。ケビン村には、炊事道具や布団も常備しているのがうれしいですね。また、人数オーバーのエクストラチャージがないのも特徴です。また、施設内に温泉「**こぶしの湯**」があるのがオリエンティアにとっては何よりうれしいです。これからは、風呂のある会場がトレンドですよ。

さて家族旅行村というだけあって、家族やグループで遊ぶ施設が充実しています。ここなら、非オリエンティアの家族を連れ出しても、十分に飽きることなく楽しんでもらえます。ボブスレー、パターゴルフ、テニス、マレットゴルフ、フィールドボード、ゴーカート、リンリンサークル(様々な変形自転車)、レンタサイクル(2人乗も有)、アスレチック遊具などがあります。中でも面白くて誰でも来るたびについ乗ってしまうのが「**ボブスレー**」(1回300円、回数券も有)、お子さんだけでなくお父さんお母さんもあの爽快感を是非一度体験してみてください。また、穴場として面白いのが、「**鯉の餌やり**」(1回100円)底の浅い水

面にまで鯉が餌を食べにせり寄ってくる様は、お子様、彼女受けすること間違いなし。マレットゴルフでは、芝目の代わりに斜面や木の根を読んでプレイします。日曜のクラブ対抗の前に、マレットゴルフでもクラブ対抗戦などがあてでしょうか。

## その他の見所

なんとといっても、一番の訪問地は、標高3000mに広がる別世界、「**中央アルプス駒ヶ岳ロープウェイ**」で行く「**千畳敷カール**」。大会の頃は紅葉の真っ盛り絶景、土曜日に早出してちょっと贅沢してみるのもいいでしょう。天気が良ければ、きっと一生の記憶に残る感動が得られます。観光案内所近くの駐車にとめて(¥400)そこからバスでロープウェイ駅まで行きます。往復で¥3,800円です。手頃な所としては、会場からも歩いていける早太郎伝説とヒカリゴケで有名な「**光前寺**」この庭園散歩は心癒されます。またクラブカップ必勝参拝もおきましょう。光前寺の近くには、「**駒ヶ根高原美術館**」、重要文化財「**竹村家住宅**」もあります。また、駒ヶ根観光案内所内の「**駒ヶ根ファームス**」も一度は訪れておきたいところ、2Fには、地ビールの立ち飲みバーもあります。ジャパンビアグランプリ金賞銀賞に輝いた“ゴールデンエール”、“アンバーエール”など、良質の水だからこそ出来る格別な味のビールです。是非一度賞味していって下さい。運転者にはノンアルコールタイプもあります。パン工場や牛乳工場もあります。また、そこからちょっと足を伸ばして、吊り橋「**こまくさ橋**」で、太田切川を渡り、対岸の「**森と水のアウトドア体験広場**」はどうでしょうか。地域の人々が水と戦ってきた歴史を知ると共に、時間200ミリの



豪雨体験など色々面白い体験ができます。橋の手前には「**駒ヶ根民藝村資料館**」もあります。また地図外となりますが、近隣には「駒ヶ根シルクミュージアム」「養命酒工場」「マルスウィスキー工場（工場内に南信州ビール醸造所も有）（いずれも工場見学有、要予約、直売所有）」などもあります。

## 温泉案内

早太郎温泉郷は、アルカリ性単純泉で、やわらかな肌ざわり、美肌の湯として定評があるそうです。会場内に「**こぶしの湯**」、観光案内所近くに、「**こまくさの湯**」があります。いずれも500円で、露天風呂やサウナもあります。シャンプー・リンス・ボディソープは常備されています。「こぶしの湯」は、オリエンテリング参加者は、大会の期間中、本プログラムを見せて50円割引となります。自動販売機でチケットを買うのではなく、直接スタッフに申し出て割引を受けて下さい。また、何度も伊那谷を訪れる人には近隣の訪問湯とともに、スタンプラリーをやっています。たくさん集めると豪華賞品がもらえるそうです。

## 食材・おみやげなど

年一度のクラブカップ、クラブでわいわいキャンプやケビンでバーベキューなど楽しむところもあるでしょう。駒ヶ根には、大型総合店「**ベルシャイン**」や大型DIY店「**カーマホームセンター**」がありますので、おおかた現地調達が可能です。また、仕入れも面倒くさいという向きには、家族旅行村レストラン付属のバーベキュー場で、山賊焼セットなど注文できます。また、おみやげとしては、ありきたりの所としては、「信州そば」、「野沢菜」、そしてこの地方の特産としては、「馬刺し」、「りんご」、「蜂の子」、「寒天」、そして「**中央アルプスの天然水**」（55・56ページ広告参照）などがあります。これらは、観光案内所内のお土産店や、「**ピアンデさくら亭**」などで求めることができます。レストラン内のお土産店にもある程度は揃っています。多分会場内にも、りんごなどの特産品と地ビールの直売所は出店することでしょう。是非ご利用、ご賞味下さい。またこの季節、テレイン内は雑キノコの宝庫。平茸などがうじゃうじゃ生えていますので、タイム度外視でキノコ狩としゃれこみますか？

## 駒ヶ根での食事

駒ヶ根名物といえば「**ソースカツ丼**」。市内各地で加盟店のノボリがたっていて、どこに居ても味わえます。ご飯の上に細切りキャベツ、その上に厚切りのカツを乗せて、

特製ソースをかけた丼です。なんでもその発祥には、早稲田大学の人間が関わっているとか。最近では、トンカツだけでなく、エビ天も載せた「**ミックス丼**」もトレンドなんだとか。勿論、会場内のレストランでもソースカツ丼は注文できます。みんなでわいわい食事に行きたい、オリエンテリア向けだろう、ここならいつまでも駒ヶ根の思い出とせずと記憶に残るだろう、という店を3つ紹介しておきます。まず、観光案内所近くのナゾの喫茶店「**ガロ**」、この店はいつ行っても長蛇の行列ができていて、我々も何度も入店を断念したナゾの店、なぜにあんなに列を作るのか、そのナゾが夏のシーズンをすぎた先日やっと解けました。「ミックス丼」にナゾはありました。大会の週末もきっと行列ができていことでしょう。並ぶのを厭わない人は是非体験してみてください。ナゾを解くカギは「ピンコ立ちのエビ天と丼のフタ」です。次に紹介するのが、「**ペリカン**」、隣にメニュー共通のカラオケ店も併設しています。ここも週末は混みあっていました。この特徴は普通メニューが“大盛”で、普通盛にしたい時に、特注しないといけない点、特にスパゲッティ類が出てきたときには驚きです。味もいけます。その他、焼肉丼やダブル焼そばなどがお勧めです。最後に、バイキングスタイルの店「**NORA**」、ソースカツ丼もバイキングできます。この3店なら、大食いのオリエンテリアでも、不満はあり得ないでしょう。その他、信州そばなら、会場への取り付け道路沿いの「**丸富**」、ラーメンなら、かの佐野名人も長野県内ベスト10に入ると推薦らしい（ある本の受け売りです）「**一兆堂**」が、お勧めで我々も味わいました。いつも客が入っている美味しい店です。

お子様には特設の遊び「**キッズO**」もあります。2日間ともやってます（1人200円）。最良質のテレイン及び抜群のレイアウト可能な大会会場、そして隣接してこれだけ多くの素材が存在する場所はそうそうお目にかかれません。まさに、駒ヶ根はオリエンテリングパラダイス、いつでも戻って来られる場所です。今後も数年おきに、クラブカップリレーを開催していく予定です。今年の楽しさを伝えることによって、今度は“あの人”にも是非誘ってみてください。

※この情報は山川が個人的に執筆したものです。電話番号などは、各種観光案内書、旅行本、インターネット等でお調べ下さい。